



新緑クラブ
酒井美代子
議員

▼第二次男女共同参画について

【Q】第一次計画と第二次計画の相違点について、市長の考え方、方針等はどういう形で具体的に反映させたのか。

【A】今回、十七年に策定した前計画の計画期間が終了することに伴い、今もなお残る男女共同参画をめぐるさまざまな課題に対応するため、前計画の考え方を基本に、島原市男女共同参画推進懇話会やパブリックコメント等の御意見を踏まえ、計画の改定を行った。

主な変更点としては、①計画の推進体制の明確化、②審議会等における女性の登用率の明確化、③男女共同参画の視点による子育て支援策の推進、④ドメスティック・バイオレンス根絶への施策の方向づけなどである。

【Q】計画における具体的施策の実行について、どういう形で実行していくのか。

【A】本計画は、より実効性のある計画にするため、具体的施策について可能な限り具

体的な取り組み内容を掲げており、庁内組織である島原市男女共同参画庁内推進会議を中心とした関係各グループの横断的な連携強化、並びに企業や社会団体との連携強化を図りながら、各項目について全庁的に推進していく。また、計画を総合的に進めるため、庁内推進会議において進捗状況を把握し、成果等の評価について検証するとともに、進捗管理を行っていきたい。

【Q】仕事と生活の両立を図るための環境整備について、第二次計画の中に本市独自の新たな施策があるのか。あるいは検討されているのか。

【A】計画策定に先立ち行った市民意識アンケート調査からも、家事や育児、介護、地域活動等、家庭責任の大部分は女性が担っているという現状があり、このことは働く女性の負担を一層大きなものにするだけでなく、勤労意欲がある女性の就職や再就職を妨げることもつながりかねないと考えている。

男女がともに家庭での責任と職業、地域生活の両立を図ることができるよう、今後さらに、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発や、労働時間短縮の促進等に取り組んでいきたい。



新風会
島内 俊光
議員

▼農業問題について

【Q】物産流通の成果と事業の状況は。

【A】生産者とともに商談会や物産展などを各地域で十七回展開支援した。さらに島原の顔となる特産品の創出を推進、奨励し、こらやつちやよかばい事業を実施し、昨年は二十一品目応募いただいた。また、関係者との意見交換会を四回開催し、多くの生産者の御意見を伺いながら取り組んできた。

【Q】物産流通の新年度の事業と予算はどうなっているのか。

【A】他市との連携なども行い、パンフレットやホームページを積極的に活用しながら、PRする地域を拡大し、生産者とともに特産品のさらなる流通促進に努めていきたい。

また、予算は商談会、展示会等のPRや委託料など約二千万円である。

【Q】島原の湧水とジオパークをインパクトと付加価値を付けて島原の産品として売り出したらどうか。

【A】島原半島ジオパークのロゴマークを使

用した商品の販売促進を行っており、今後とも本市特有の観光資源と農産品が一体となったPR、流通促進に積極的に取り組んでいきたい。また、湧水はハウステンボスの部屋の冷蔵庫に納めてあり、最近長崎の物産館や長崎空港のいけどき屋などにも置いてある。販路は徐々に拡大されている。

【Q】市の口蹄疫対策はどうなっているのか。

【A】数多くの人が集まる場所の公共施設や観光客が多く集まる箇所において、防止のために市が管理する施設を中心に、靴裏消毒を実施しているところである。今後の推移を見ながら、柔軟な対応ができるように努力したい。

▼市有財産管理について

【Q】大野浜地区の市有地払い下げの進捗状況はどうなっているのか。

【A】十九年度から市有地貸付地の売却促進を図っており、二十一年度末で進捗率は面積、金額ともに六十六％である。今後さらなる売却促進に努めたい。

【Q】菅の埋立地問題は怎么样了。

【A】旧有明町と旧大三東漁業協同組合の間で締結されている協定書に基づき無償譲渡が議決されており、今後さらに有明漁業協同組合と協議を行いたい。